

6 アイヌの人々



アイヌの人々の生活環境は、これまでの取組みで向上してきているものの、アイヌの人々が居住する地域において、なお格差があることが認められるほか、様々な偏見や差別の問題が残っています。私たち一人ひとりが、先住民族であるアイヌの人々の独自の文化や伝統を尊重し、アイヌの人々について正しい理解と認識を深めていくことが大切です。

4コマで知る!

アイヌを知ろう!

アイヌの人々や文化について身近にあることを紹介します。

動物好きのほくに、父さんが「トナカイ」はアイヌ語だと教えてくれたんだ。

アイヌ語? アイヌ語はアイヌ語だと教えてくれたんだ。

「アイヌ語」って何か聞いたら昔から北海道には、独自の言葉や文化を持ったアイヌの人たちが住んでいたことを教えてくれました。

「アイヌ」って人間っていう意味なんだって! ほくはアイヌについてもっと知りたくなったよ!

お互いの民族の文化の違いを認め、理解と知識を深めて尊重し合うことが大切です。

失われた民族の誇りと文化

アイヌの人々は、固有の言語であるアイヌ語、伝統的な儀式、祭事や多くの口承文学(ユカラ)など独自の豊かな伝統や文化を持った民族です。しかしながら、明治維新後の「北海道開拓」を進める中で、いわゆる同化政策(日本人化の強制)などにより、アイヌの人々の民族としての誇りの源泉である多くの文化が失われてきました。

アイヌ固有の伝統・文化の尊重と差別意識の解消へ

平成9(1997)年、それまでアイヌの人々の生活などを規定していた法律「北海道旧土人保護法」が廃止され、新たに「アイヌ文化振興法」が制定されました。

その後、平成19(2007)年9月、国連において「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択され、これを受けて、平成20(2008)年6月に「アイヌ民族を先住民とすることを求める決議」が衆参両院において全会一致で可決されました。

しかし、今日でもなお、アイヌの人々に対する理解が不十分であるため、差別や偏見が依然として存在しています。アイヌの人々の歴史や文化、伝統などへの理解を深め、人権を尊重することが大切です。

